



防災講演会のご案内

NPO 法人都市災害に備える技術者の会では、防災講演会を下記のとおり開催いたします。

今回は、コロナ禍によって延期になっていた、京都大学名誉教授の釜井俊孝先生をお招きして、2023年5月26日に施行された盛土規制法の施行と課題について、裏の裏までお話しいただく予定です。

釜井俊孝先生は、1995年兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）で、造成宅地で多数発生した谷埋め盛土の地震時地すべりに着目され、その変動原理を明らかにされるとともに、2006年の宅造法改正時、2023年の盛土規制法施行に伴う技術的支援等でご活躍されました。

貴重なお話を聞ける機会ですので、ぜひご参加ください。

記

主 催：NPO 法人 都市災害に備える技術者の会

日 時：2023年7月8日(土) 13時30分～16時30分

場 所：〒540-0008 大阪市中央区大手前 1-3-49

大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター) 電話：06-6910-8616



テーマ：『盛土規制法の夢と現実』

講 師：京都大学名誉教授 釜井俊孝（かまいとしか）先生

参加費：無料

申込期限：2023年7月7日 但し、会場の都合により先着50名とさせていただきます。

参加申込は、下記のフォームからお願いします。

申込フォーム	https://forms.gle/yQqBjLFwzNQ37YQG6
--------	---

申込フォームに入力できない方は、事務局（E-mail：office@toshisaigai.net）に、氏名・メールアドレス・所属（団体/会社）・普段連絡が取れる電話番号（携帯電話）を送信してください。代理で入力いたします。

【問合せ先】NPO法人都市災害に備える技術者の会 事務局 太田宛

E-mail：office@toshisaigai.net

Fax 078-907-3123

『防災講演会』

『盛土規制法の夢と現実』

講師 京都大学名誉教授 釜井俊孝(かまいとしか)先生

【講師略歴】

1957年 東京都に生まれる。

1979年 筑波大学卒業（地球科学専攻）

1986年 日本大学大学院修了（地盤工学専攻）

民間地質調査会社、通産省工業技術院地質調査所、日本大学理工学部土木工学科助手・専任講師・助教授、などを経て

2000年 京都大学防災研究所助教授、2007年 同教授

2022年 退職、京都大学名誉教授

著書：2000年『斜面防災都市』理工図書

2016年『埋もれた都の防災学：都市と地盤災害の2000年』京都大学学術出版会
（第7回古代歴史文化賞 優秀作品賞）

2019年『宅地崩壊：なぜ都市で土砂災害が起こるのか』NHK出版新書

2020年『宅地の防災学：都市と斜面の近現代』京都大学学術出版会



【講演紹介と講演概要】

講師の釜井俊孝先生は、地質学を専攻されたのちに、応用地質学分野に進まれた研究者です。地質調査所に勤務されていた1995年1月17日に兵庫県南部地震が発生し、山地の土砂災害の調査のために被災地に来られましたが、山に到達する前に、丘陵地で不可解な地すべりが多数発生しているのを発見され、それが谷埋め盛土地すべりの研究を始められるきっかけになりました。同じ盛土材料、同程度の盛土強度、同程度の震動を受けているのに、変動している盛土と変動していない盛土が同じ地域に混在していることから、盛土変動メカニズムに興味を持たれました。変動要因を地震から約5年後の2000年頃に明らかにされ、地震時に都市部で同様の盛土地すべりが発生することに対して警鐘を鳴らされました。その声が、内閣府防災担当で、当NPO設立時にも大変お世話になった渋谷和久氏（現チリ大使）に届き、渋谷氏が国交省都市局に異動されたときにちょうど発生した2004年新潟県中越地震でもたくさんの地震時盛土地すべり（のちに「滑動崩落」と命名）が発生しました。そして宅地の地震時盛土地すべりを予防するため、宅造法が改正され、宅地耐震化推進事業創設につながりました。

2006年に宅造法が改正されたあと、遅々として進まない宅地耐震化事業でしたが、その間にも2007年中越沖地震、2011年東日本大震災、2016年熊本地震、2018年北海道胆振東部地震で同様の滑動崩落が多発しました。そして、2021年に長雨により熱海市伊豆山土石流災害が起き、28名が犠牲になったのをきっかけに盛土規制法（2022年）がつくられました。その法律の技術基準等を策定する検討会・WGにも日本の（同時に世界の）盛土地すべり研究の第一人者として参画され、今年の5月26日に法律が施行されました。

今回のご講演では、盛土地すべり全般の話や、盛土規制法の技術基準作成等の裏側や残された課題等について、歯に衣着せずお話しいただけると幸いです。また、釜井先生が提唱された「未災（みさい）学」についてもお話しいただけると幸いです。ご期待ください。